

令和5年度山口市文化財保存活用評価会議

令和3年度総合評価

| 評価 | 評価の内容 |
|----------------|--|
| A・ B ・C | <p>令和3年度は実施予定とした45の措置のうち、42項目に取組み、ほぼ予定していた措置を実施しました。本年度は、地域計画の初年度にあたることから、まずは仕組みづくりについて取組み、歴史文化資源を保存・活用するための会議体（推進会議・評価会議）の設置や、文化財保存活用講座の開催などに取組みました。</p> <p>成果指標では、①文化・芸術・歴史に触れる機会に恵まれていると思う市民の割合はわずかに向上（0.3%増）した一方で、②山口市の文化・芸術・歴史に誇りや愛着を持っている市民の割合が低下（1.5%減）しており、引き続き、市民への周知や意識醸成につながる取組をおこなっていくことが必要です。また、③観光客数（317,153人増）が増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準には回復していないのが現状です。</p> <p>コロナ禍の影響もあって、イベントの定員縮小やオンライン開催への変更が生じたほか、無形民俗文化財の活動が中止になるなど、依然として歴史文化資源の情報発信や継承活動の環境は改善していません。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症等の状況を見極めながら、地域計画に則り事業を進めていく必要があります。</p> |